

我々を取り巻く脅威について考える

脅威から患者と医療従事者を守る方法～スタンダードプリコーション～

9/1/2021

我々を取り巻く脅威について考える

脅威から患者と医療従事者を守る法～スタンダードプリコーション～

スタンダード プリコーションとは どんなこと

～患者と医療従事者を
感染から守るために
行う予防策～

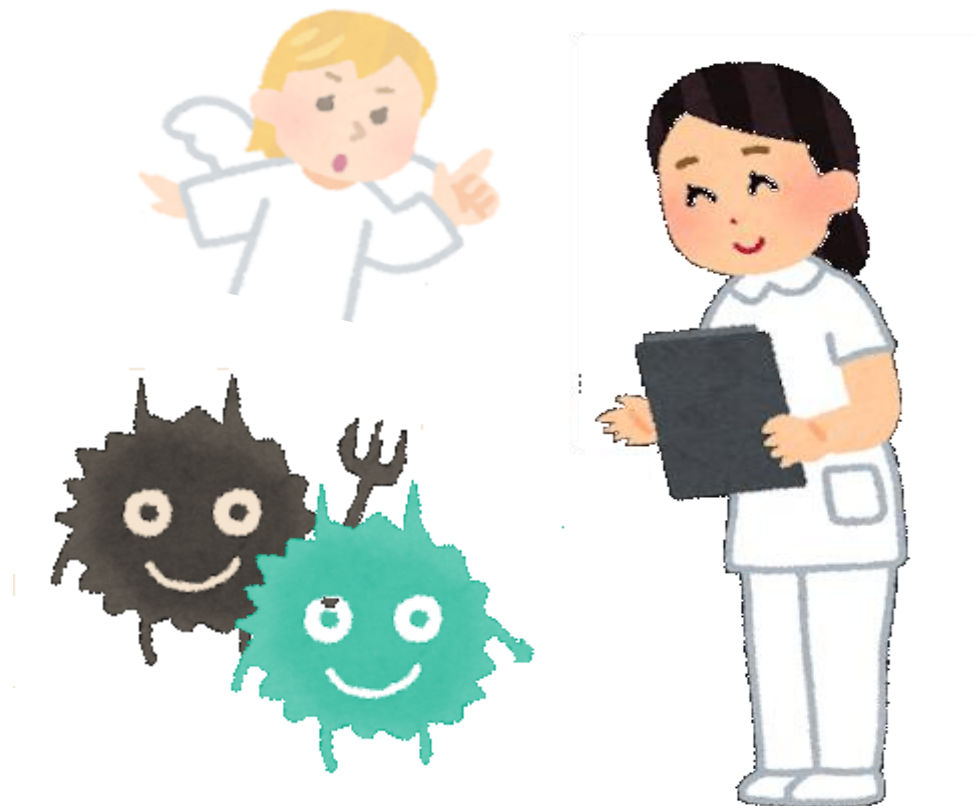
すべての人の血液、汗を除くすべての体液、粘膜そして傷のある皮膚は、
感染性があるものと考えて、**直接接触**することを避ける。

医療関連感染
防止策

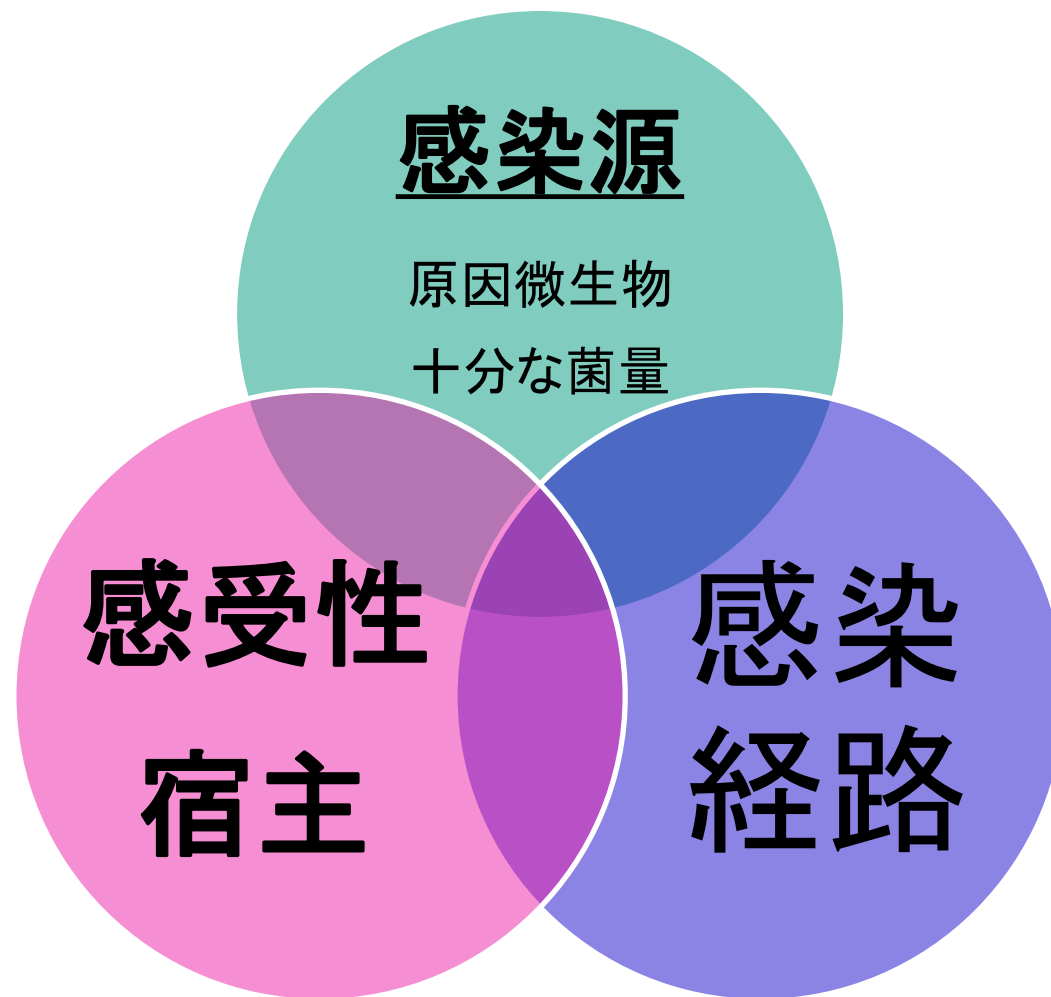
市中感染
防止策

なぜにスタプリ？

既知の感染症の有無を検査で選別(スクリーニング)しても潜伏期間中は見つけられない。未知の感染症はなにをしても見つけられないため、患者や医療従事者を感染のリスクから守ることができない。



感染のリンク



国際標準の感染予防対策 滅菌・消毒 洗浄ハンドブック 5頁より抜粋 ICHG研究会編医歯薬出版株式会社 2018年11月20日

感染予防対策の原則は感染の3つの要素のリンクのいずれかを断つこと



手洗い



PPE
個人防護具

感染経路別予防対策

感染種類

空気感染

飛沫感染

接触感染

感染媒体

病原体を含む蒸発物
($5\mu\text{m}$ 以下の粒子)
空気の流れにより拡散

病原体を含む飛沫
($5\mu\text{m}$ 以上の粒子)
1m以下飛び床に落ちる

直接接触感染
患者同士の接触、患者
ケア時に伝播

間接接触感染
汚染された手袋、ドア
ノブなどを介して伝播

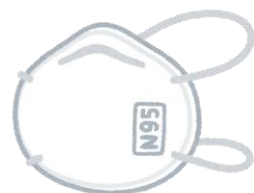
主な対策

長時間空気に漂う
・特別な空気の処理
・換気が必要な個室

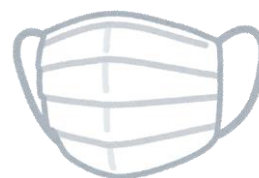
空気より重い
・手洗いと、プラス
チック手袋などPPE

手洗いとプラスチック手袋などPPEの使用
・人の手が触れる場所の清掃
(場合によっては清拭消毒)
・患者に使う器材の適切な処理

対応方法



N95マスク



サージカルマスク



手洗い(手指衛生)



手袋/PPE



洗浄/消毒/滅菌



国際標準の感染予防対策 滅菌・消毒 洗浄ハンドブック | 10頁より抜粋 ICHG研究会編医歯薬出版株式会社 2018年11月20日

人が感染を受ける経路は3つ

感染リスクとスポルディングの分類

高リスク



クリティカル機器(滅菌)

- ・ 皮膚や粘膜を穿通するか、体内の無菌域に到達する器機
- ・ 手術器材全般、鉗子、注射針、手術用オイフ

中リスク



セミクリティカル機器(消毒)

- ・ 粘膜に接するもの、易感染患者に使用するもの、体液や病原体に汚染されたもの
- ・ 軟性内視鏡、呼吸器回路など

低リスク



ノンクリティカル機器(洗浄および乾燥)

- ・ 損傷のない皮膚に触れる可能性がある器機
- ・ 手すり、ドアノブ、洗面台、リネン類など
- ・ 聴診器、体温計など

国際標準の感染予防対策 滅菌・消毒 洗浄ハンドブック 6頁より抜粋 ICHG研究会編医歯薬出版株式会社 2018年11月20日

接触する部位による処理水準の決定方法は3つ

洗浄・消毒・滅菌の定義

滅菌

すべての微生物を物理的、化学的手段を用いて殺滅させるか、完全に除去し無菌状態を作ること

消毒

人体に有害な微生物の感染症を物理的、化学的手段を用いてなくすか菌量を少なくすること

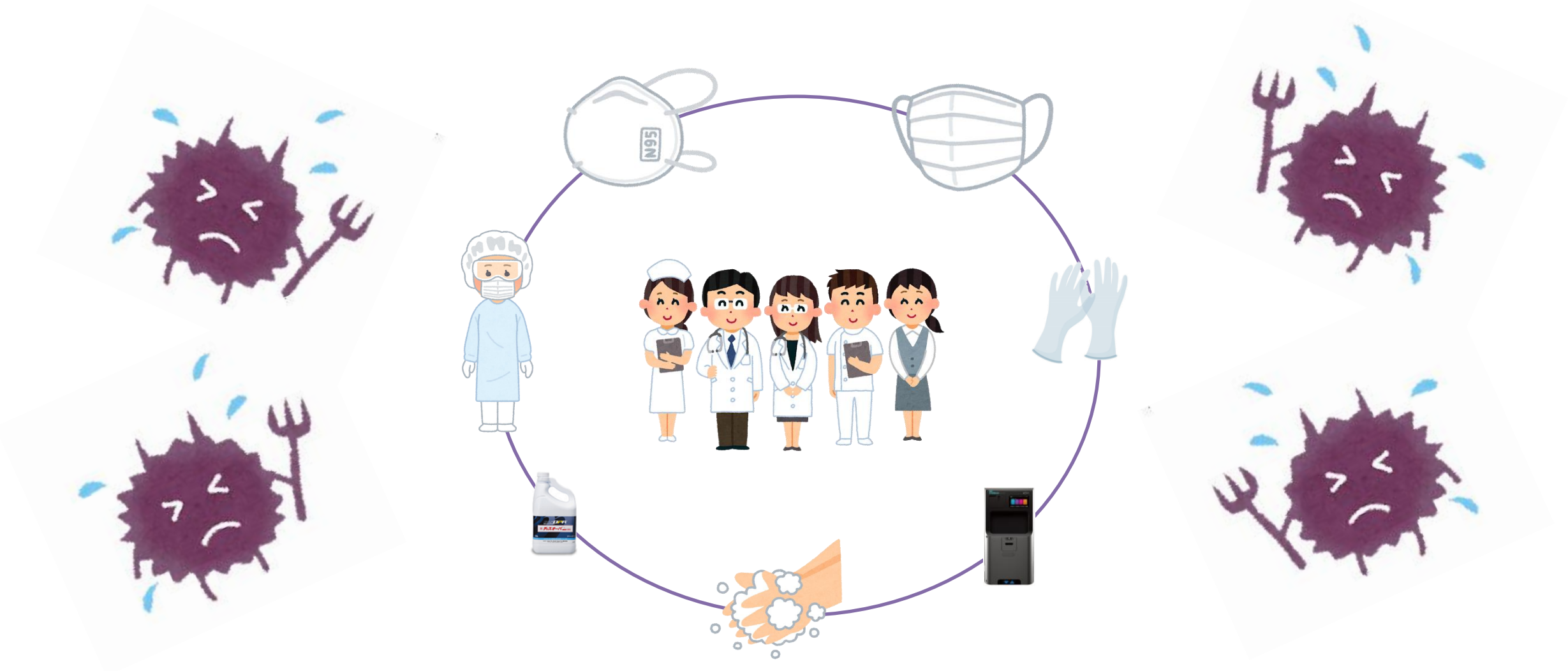
洗浄

水と洗剤を用い、目視できる汚染を洗い落とすこと

国際標準の感染予防対策 滅菌・消毒 洗浄ハンドブック 20頁より抜粋 ICHG研究会編医歯薬出版株式会社 2018年11月20日

器材が使用される場所にあった処理方法を3つの中から選択

目には見えないかもしれませんが...



日々みなさまが提供している製品で患者と医療従事者は感染から守られている